

令和4年第2回定例会 12月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。本会議は午前10時から開会します。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越してください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、会議については、原則マスクを着用し、換気等の措置を実施の上行いますので、ご理解とご協力をお願いします。  
風邪症状（熱、咳、くしゃみ、鼻水等）のある方は、傍聴をご遠慮願います。

発 言 順 位

12月6日（火）

- |     |     |     |    |             |            |
|-----|-----|-----|----|-------------|------------|
| (1) | 三 好 | 宏   | 議員 | (自民党 真誠会)   | …………… P 2  |
| (2) | 松 井 | 久美子 | 〃  | (公 明 党)     | …………… P 4  |
| (3) | 吉 田 | 秀 夫 | 〃  | (明石かがやきネット) | …………… P 6  |
| (4) | 林   | 健 太 | 〃  | (自民党 真誠会)   | …………… P 8  |
| (5) | 尾 倉 | あき子 | 〃  | (公 明 党)     | …………… P 9  |
| (6) | 坂 口 | 光 男 | 〃  | (自民党 真誠会)   | …………… P 10 |
| (7) | 国 出 | 拓 志 | 〃  | (公 明 党)     | …………… P 12 |
| (8) | 穂 原 | 成 人 | 〃  | (自民党 真誠会)   | …………… P 14 |

12月7日（水）

- |      |     |     |    |           |            |
|------|-----|-----|----|-----------|------------|
| (9)  | 飯 田 | 伸 子 | 議員 | (公 明 党)   | …………… P 15 |
| (10) | 井 藤 | 圭 順 | 〃  | (自民党 真誠会) | …………… P 16 |
| (11) | 佐々木 | 敏   | 〃  | (公 明 党)   | …………… P 17 |
| (12) | 寺 井 | 吉 広 | 〃  | (自民党 真誠会) | …………… P 18 |
| (13) | 梅 田 | 宏 希 | 〃  | (公 明 党)   | …………… P 19 |
| (14) | 石 井 | 宏 法 | 〃  | (自民党 真誠会) | …………… P 20 |
| (15) | 灰 野 | 修 平 | 〃  | (自民党 真誠会) | …………… P 21 |
| (16) | 千 住 | 啓 介 | 〃  | (自民党 真誠会) | …………… P 22 |

12月8日（木）

- |      |     |     |    |                   |            |
|------|-----|-----|----|-------------------|------------|
| (17) | 辻 本 | 達 也 | 議員 | (日 本 共 産 党)       | …………… P 23 |
| (18) | 森   | 勝 子 | 〃  | (維 新 の 会)         | …………… P 25 |
| (19) | 家根谷 | 敦 子 | 〃  | (ス マ イ ル 会)       | …………… P 27 |
| (20) | 宮 坂 | 祐 太 | 〃  | (フ ォ ー ラ ム 明 石)   | …………… P 28 |
| (21) | 大 西 | 洋 紀 | 〃  | (未 来 明 石)         | …………… P 29 |
| (22) | 丸 谷 | 聡 子 | 〃  | (か け は し S D G s) | …………… P 30 |
| (23) | 北 川 | 貴 則 | 〃  | (維 新 の 会)         | …………… P 32 |

※ 順位については予定です。

令和4年第2回定例会12月議会発言通告一覧表

(代表質問)

発言順位	1	議員名	三好 宏 (自民党 真誠会)
発 言 事 項	<p>1 泉市長の責任の取り方について</p>		
	<p>(1) 一発アウトとは。                      (要旨) 9月議会最終日の10月12日、本会議場で泉市長から、来春4月末日をもって政治家を引退する旨の表明があった。市長は、「もうそれは一発アウトだという認識をしております」との発言をされたが、任期はまだ5か月もある。市民からは「一発アウト」とは、即退場ではないかとの声もあるが、その表現の意図は。</p>		
	<p>(2) 政治家引退発言に二言はないのか。                      (要旨) 約4年前は、自ら「火をつけてこい」との暴言で辞職され、その後の出直し選挙に出馬されたが、今回の政治家引退発言に二言はないのか。</p>		
	<p>(3) 報酬削減の考えは。                      (要旨) かつて、泉市長は自らの報酬を削減していた時期があるが、現在は規定どおりに戻されている。今回の暴言事件でいろんな方にご迷惑やご心配をかけていることを鑑みて、報酬を削減するお考えはあるのか。</p>		
	<p>(4) 積年の怒り発言の真意は。                      (要旨) 本会議では、「11年半の積年の怒りが爆発した」との発言があったが、市長と議会は明石市政の車の両輪として議論を交わし、共に市政発展のために、こどもを核としたまちづくりを掲げ、子育て施策を推進してきたことはお忘れなのか。</p>		
<p>(5) 地域政党立ち上げについて                      (要旨) 御自分の意志を受け継ぐ政治家を育成する側になりたいと、地域政党の設立を表明された。それはまさしく、今回の暴言である「お前、選挙で絶対落としてやる」を実行しようとしているのではないか。また、引退されてからも院政を敷くおつもりか。</p>			

発言順位	1	議員名	三好 宏 (自民党 真誠会)
発言事項	<b>2 工場等の緑化に関する届出について</b>		
	<p>(1) これまでの経緯について            (要旨) 明石市工場立地法地域準則条例制定後、明石市は兵庫県へ「工場等の緑化に関する届出」を提出していない。条例の対象となる特定工場である敷地面積が9,000㎡以上の工場は、敷地の有効活用が可能となったが、9,000㎡未満の工場については依然として20%の緑地を確保しなければならないのが現状である。老朽化した工場の刷新や社員の労働環境の改善を考え、再整備したいのに、それが思うようにできないのは問題である。大手企業の大きな工場に比べ、体力の劣る中小企業の工場こそ、敷地面積を有効に活用し、生産性を上げられるようにすることが自然であり、これでは逆転現象であると言える。これまで市では、工場緑地のあり方検討会などとも議論を重ねてきたが、この観点について、課題としてどう捉えていたのか、経緯の説明を求める。</p> <p>(2) 今後の対応について            (要旨) 条例対象外である工場の生産性も向上する対策が必要で、将来に向け、地域経済の活性化を目指すためにも、この逆転現象を是正しなければならないと考える。今後どのように対応していくのか、手続きの手順も含め考えを聞く。</p>		

発言順位	2	議員名	松井久美子（公明党）
発言事項	<p><b>1 議案第94号 令和4年度明石市一般会計補正予算（第8号）の出産・子育て応援給付金給付事業について</b></p> <p>(1) 出産・子育て応援給付金給付事業の経済的支援について  (要旨) 国の総合経済対策として、支援が手薄な妊婦や0～2歳児の子育て支援の充実に向け、妊娠・出生届出時に計10万円相当の給付が実施されることから、本市の取組について問う。</p> <p>(2) 妊娠時から出産・子育てまでの一貫した伴走型の相談支援について  (要旨) 核家族化や地域でのつながりが希薄化する中で、孤立・不安感を抱く妊婦と子育て家庭に対する支援が重要である。妊娠時から出産・子育てまでの一貫した伴走型の相談支援を行うため、本市の現状と今後の取組について問う。</p> <p><b>2 「女性デジタル人材」の育成で、女性活躍の後押しを</b></p> <p>(1) 令和4年4月26日に内閣府男女共同参画会議にて決定された「女性デジタル人材育成プラン」について  (要旨) 国の女性デジタル人材育成プランでは、就労に直結するデジタルスキルを身につけた女性デジタル人材育成の加速化と、デジタルを活用し地域課題を牽引する高レベルなスキルを習得したデジタル推進人材の育成・確保が求められている。市としての見解について聞く。</p> <p>(2) 「女性デジタル人材」育成のために、官民連携でセミナーの開催を。  (要旨) 先進地の事例などを研究し、テレワーク等で女性の就労機会を創出するために、官民連携でセミナーを開催し、女性活躍の後押しをすることが重要である。</p> <p>(3) 市内の企業経営者に、女性の多様な働き方やデジタル人材の需要が高いこと等を周知するために、セミナーの開催を。  (要旨) 市内の企業経営者に向けたセミナーを開催することで、女性の就労支援につなげたい。</p>		

発言順位	2	議員名	松井久美子(公明党)
発言事項	<p><b>3 学力向上推進事業「数学・英語応援団」について</b></p> <p>(1) 学力向上推進事業「数学・英語応援団」の現況について  (要旨) 平成26年より、あかし教育プランの基本理念に掲げる地域ぐるみで人を育てることの一環として、地域人材を活用し、確かな学力を育成するために、中学3年生を対象として放課後に市内全中学校で開催されている数学・英語応援団の現況を問う。</p> <p>(2) 市内の生徒の学力向上を目指すために、中学1年生からの学力向上推進事業実施を。  (要旨) 基礎学力の向上を目指すためには、中学3年生からでは遅いと思われるため、中学1年生から支援をする必要があるのではないか。</p>		

発言順位	3	議員名	吉田 秀夫 (明石かがやきネット)
発 言 事 項	<p><b>1 明石市職員の定年引上げにかかる諸課題について</b></p> <p>(1) 高齢者部分休業制度の導入について  (要旨) 3月議会から6月議会、9月議会でも定年年齢の引上げに合わせて高齢者部分休業制度の導入を予定しているとの説明を受けたが、今回、提案された明石市職員の定年等に関する条例等の改正条例において提案されていないのはなぜか。</p> <p>(2) 60歳を超える高齢期職員の担うべき職務・職責の整理と、処遇の均衡について  (要旨) 定年年齢の段階的引上げの期間中は、定年年齢を引き上げられた職員、暫定再任用職員、定年前再任用短時間勤務職員が混在して業務にあたることになる。担う職務も職責も同等のものになるのであれば、給与水準を含めた処遇均衡が求められると考えられるが、認識を問う。</p> <p>(3) 役職定年制度と現行の人事管理制度との整合性について  (要旨) 役職定年制度の趣旨と目的、及び人事制度との整合性を図るためには、現行の定年延長制度の運用や再任用職員の管理職配置等は、見直しの必要があると考えるが、認識を問う。</p> <p><b>2 高齢者への認知症支援の取組について</b></p> <p>(1) 認知症の人とその家族への一体的支援事業について  (要旨) 令和4年4月から、国が定める地域支援事業実施要綱の一部改正により、市町村が手がける認知症総合支援事業に、認知症の人と家族への一体的支援事業が新たに追加された。これまでの認知症支援との違いや事業の詳細、期待される効果など、現時点での本市の取組状況について聞く。</p> <p>(2) 認知症予防の取組について  (要旨) 認知症の発症を遅らせたり、発症リスクを低減させる一次予防について、本市の認知症予防に資する可能性のある取組について聞く。</p>		

発言順位	3	議員名	吉田 秀夫 (明石かがやきネット)
発言事項	<p><b>3 子どもたちを守る「人権教育としての性教育」の推進について</b></p> <p>(1) 令和4年4月より「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」が施行された。  (要旨) 本市の受け止め、また、教員への研修の内容及び実施状況について聞く。</p> <p>(2) 「生命(いのち)の安全教育」について  (要旨) 文部科学省では、かねてより、子どもたちを性犯罪・性暴力の加害者、被害者、傍観者にしないため、生命(いのち)の安全教育を推進しているが、本市の方針及び取組について聞く。</p>		

発言順位	4	議員名	林 健太 (自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 学校給食について</b></p> <p>(1) 学校給食について  (要旨) 食料品価格の高騰が続く中、本年度は国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充てて何とかしのいでいる状態だが、令和5年4月以降の給食費をどのように考えているのか、市の見解を問う。</p> <p><b>2 各種申込みの電子化について</b></p> <p>(1) 各種申込みについて  (要旨) 昨年12月議会でも保育施設の申込みを含めた各種申請の電子化について質問したが、現状どのようになっているのか。また、いつから、どのように始めるのか、市の見解を問う。</p> <p><b>3 泉市長がツイッターに書き込まれた「利権」「口利き」等について</b></p> <p>(1) 「公共事業の口利きで、業者からバックマーゲンを取れるから、市会議員をやっているんだよ」と市会議員から言われたとの投稿について  (要旨) この市会議員とは誰で、いつ頃、どのような場所で、真顔で言われたのか、市長に問う。</p> <p>(2) 「公共事業の口利きによるバックマーゲン、市営住宅入居や保育所入所への口利きによる謝礼などが典型例で、明石市も例外ではなかったが…」との投稿について  (要旨) 「市長になって全部やめさせた」とあるが、誰が何を行っていたのか。また、当時、口利きに対応した職員に対してどのような処分を行ったのか、市長に問う。</p>		



発言順位	5	議員名	尾倉 あき子 (公明党)
発言事項	<p><b>1 18歳までの児童手当の拡充でこども支援施策の充実を</b></p> <p>(1) 18歳までの児童手当の拡充でこども支援施策の充実を。  (要旨) こどもを核としたまちづくりに取り組む本市として、児童手当を現在の15歳から18歳まで拡充し、こども支援施策のさらなる取組ができないか聞く。</p> <p><b>2 小学校給食の無償化について</b></p> <p>(1) 学校給食のさらなる取組として小学校給食の無償化を。  (要旨) 現在、中学校給食は無償であるが、コロナ禍や物価高騰の影響により各家庭において経済負担が大きいことから、小学校給食の無償化について検討できないか聞く。</p> <p><b>3 明石港周辺の再整備で「海のまち明石」のにぎわいづくりについて</b></p> <p>(1) 明石港東外港地区の進捗状況について  (要旨) 明石港周辺の再整備として、東外港地区の再整備が大きな課題であることから、その進捗状況を聞く。</p> <p>(2) 明石港周辺のにぎわいづくりへの今後の取組について  (要旨) これまで高速船乗り場から錦江橋までのエリアの整備による海のまち明石のにぎわいの創出を提案したが、今後の取組について聞く。</p>		

発言順位	6	議員名	坂口光男（自民党 真誠会）
発 言 事 項	<p><b>1 明石の地域コミュニティの醸成について</b></p> <p>(1) 自治会・町内会の未結成地域の世帯数の増加について  (要旨) 昭和50年のコミュニティ元年の宣言以降、コミュニティ先進都市を掲げる本市であるが、市内の自治会・町内会の未結成率が年々増加傾向であり、歯止めがかかっていない。現状に係る認識と今後の取組を問う。</p> <p>(2) 校区単位でまちづくり協議会の組織充実ができていない小学校区の現状について  (要旨) まちづくり協議会組織の核となるのは、自治会・町内会組織であると認識している。自治会・町内会組織のない小学校区は、いつまでたっても効果的なまちづくり協議会組織ができないと考えるが、その認識を問う。</p> <p>(3) 自治会・町内会の結成機運の盛り上げについて  (要旨) 市主導による自治会・町内会の結成推進月間を定め、子どもを中心とした未結成地域でのイベントや自治会・町内会ハンドブックの説明会の開催等、あらゆる手段を講じて自治会・町内会の結成機運を盛り上げる取組についての認識を問う。</p> <p><b>2 高齢者福祉について</b></p> <p>(1) 高齢者介護施設に関する取組について  (要旨) 第8期介護保険事業計画において、特別養護老人ホームへの入居待機者の解消について、どのような取組を考えているのかを問う。</p> <p>(2) 高齢者の就労支援について  (要旨) 就労を希望する方への情報提供・あっせんについて、市独自の計画や目標（KPI：重要業績評価指標）を設定し、重点施策として取り組んでいくことについての認識を問う。</p> <p>(3) 介護保険事業について  (要旨) 65歳以上の第1号被保険者で、介護保険サービスを利用せず、行政・地域の健康維持・増進イベントに積極的に参加している方を応援する策として、何らかのインセンティブ付与を検討すべきと考えるが、その認識を問う。</p>		

発言順位	6	議員名	坂口光男（自民党 真誠会）
発 言 事 項	<p><b>3 報告第24号 令和3年度明石市一般会計歳入歳出決算不認定に係る措置の報告のことについて</b></p> <p>(1) 令和2、3年度と2年連続で一般会計決算が不認定とされたことについて  (要旨) 予算執行最高責任者としての市長の認識を問う。</p> <p>(2) 市長の専決処分による「市民全員・飲食店サポート事業」の強硬実施について  (要旨) 令和3年8月臨時会にて、継続審査とした議会の議決直後に市長による専決処分が行われ、一方的な事業執行という強硬策に及んだことについて、なぜそんなに急ぐ必要があったのかを問う。</p> <p>(3) 議会が継続審査とした理由である個人単位のサポート券送付や事務委託に係る一者随意契約について  (要旨) 今年度に行われた第2弾の事業においては、議会が指摘したとおり世帯単位での送付や業務委託契約を競争入札とした結果、事務費が約9,300万円軽減できたことについての認識を問う。</p> <p>(4) 「あかし生活・地域経済応援キャンペーン事業」の未実施について  (要旨) 議会の要望により令和3年度予算に事業に係る予算が計上され、議決がなされた。年度開始後には、一般質問でも事業の早期実施の必要性を指摘していたにもかかわらず実施されなかったことについて、議決についての認識を問う。</p> <p>(5) ふるさと納税寄附金の活用について  (要旨) 昨年度の決算審査に続いての指摘である寄附金の活用について、昨年度同様、市として本来予算計上しなければならない費用である漁業関連の保険や水産一般振興事業などに寄附金が充当されており、寄附者の意向である水産資源の保護を目的とした使途とは違うと考えるが、認識を問う。</p>		

発言順位	7	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p><b>1 放課後児童クラブについて</b></p> <p>(1) 冬休みの受入れの現状と来年度の取組について  (要旨) この度、夏休みに続き、冬休みも放課後児童クラブ加入の有無にかかわらず、預かっていたけるようになったとお聞きしているが、その現状について聞く。</p> <p>(2) 春休みの受入枠の拡大について  (要旨) 冬休みの状況を見ながらとは思いますが、ぜひ、春休みも御検討をいただきたい。</p> <p>(3) 一時預かりとしてのファミリーサポートセンターとその現状について  (要旨) ファミリーサポートセンターがあると聞いているが、その現状について聞く。</p> <p>(4) 現行制度の放課後児童クラブの枠組みの中での預かりについて  (要旨) 現行制度の放課後児童クラブの枠組みの中で、突発的な預かりにも対応が可能となるような仕組みが、ぜひ、必要と考える。</p> <p><b>2 (仮称)「未来につなぐ豊かな農業をつくる会」を立ち上げないか</b></p> <p>(1) 農地等利用最適化推進施策に関する意見書提案に対する経過について  (要旨) 一昨年、令和2年9月議会において、農地等利用最適化推進施策に関する意見書提案について質問をしたが、その後の経過を問う。</p> <p>(2) (仮称)「未来につなぐ豊かな農業をつくる会」を立ち上げないか。  (要旨) (仮称)「未来につなぐ豊かな農業をつくる会」を立ち上げて、生産緑地の問題や、さきの農業委員会提案の議題についても、都市局や農業委員会のみではなく、明石の農業に関わりのある全ての部局が横断的に一堂に会し、市長が中心となり農業委員会の皆さんや農家の皆さん、さらにはJA、そして専門家も入っていただいて、それぞれの立場で意見を述べ合い、よりよい豊かな農業を構築するための会議を設けるべきと考えます。</p>		

発言順位	7	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p><b>3 市民会館の建て替えについて</b></p> <p>(1) なぜ、市民会館は新庁舎と一体で建設を考えず、建て替えの議論から外されてしまったのか。  (要旨) 市民会館は、現庁舎とほぼ同年代に建設されているにもかかわらず、建て替えの対象とはなっていない。本来なら新庁舎と一体で建設を考えるべきではなかったか。</p> <p>(2) 市民会館も建て替えを前提として議論をしていくべきではないか。  (要旨) 同年代に建設した市庁舎の建て替えが決まっていることを思えば、市民会館も建て替えに向けて、今後、しっかりと議論していくべきではないか。</p> <p><b>4 明石市役所第1駐車場について</b></p> <p>(1) 明石市役所第1駐車場の混雑緩和対策について  (要旨) 市役所閉庁後や土日、祝祭日に市民会館にて大きなイベントが開かれる際には、市民会館の指定管理者に駐車場の管理運営も含めて委託すべきであり、そのために必要な経費も見込んだ上で指定管理者の指定をするべきであると考えます。</p> <p><b>5 敬老祝い金の見直しについて</b></p> <p>(1) 敬老祝い金の見直しについて  (要旨) 高齢者に対する感謝の思いや、お祝いの気持ちを金額に反映させてもよいのではないかと。  予算全体における高齢者に対する配分にも関わることであり、バランスの良い予算配分を目指すのであれば、全体として高齢者に対する予算をかき上げしていく必要がある。</p>		

発言順位	8	議員名	穂原 成人 (自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 新ごみ処理施設整備について聞く</b></p> <p>(1) 基本計画策定の進捗状況と今後の予定は。  (要旨) 現在の処理施設の耐用年数を鑑みると、施設の延命方策にも限界が来ているのではないかと。市民生活に必要な処理施設であり、早急に次期整備計画を明らかにする必要がある。</p> <p>(2) 事業費抑制への考えは。  (要旨) 特殊施設である処理施設の建設費用の検討に加えて、現状の施設において毎年行われている修繕コスト、維持管理コストのさらなる軽減策も併せて考える必要がある。</p> <p><b>2 新庁舎整備にかかる市長発言について</b></p> <p>(1) 発言の真意はどうか。  (要旨) 市民が参加する会合において、新庁舎について全て議会が決めたとの発言があったと聞くが、議会には予算執行権や予算編成権もない。広報あかしに記載された内容とも相違があり、市民に対して間違った情報が伝えられているように感じる。</p>		

発言順位	9	議員名	飯田 伸子 (公明党)
発言事項	<p><b>1 不登校児童・生徒へのタブレット端末を活用した学習支援について</b></p> <p>(1) 不登校児童・生徒へのタブレット端末を活用した学習支援に対する本市の認識と現状について  (要旨) 不登校児童・生徒へのタブレット端末を活用した学習支援が効果を上げているという他自治体の報告があるが、本市の認識と現状を問う。</p> <p>(2) 不登校児童・生徒へのタブレット端末を活用した学習支援の早期導入に向けた今後の取組について  (要旨) 本市でも、全児童・生徒に配付しているタブレット端末を活用した不登校児童・生徒への学習支援の早期導入に向けて積極的に取り組むべきと考えるが、市の今後の取組を問う。</p> <p><b>2 男性の育児休業取得のさらなる促進について</b></p> <p>(1) 本市の男性職員の育児休業取得率の現状について  (要旨) 本市は、昨年8月より男性職員の育休100%を目指す取組を開始しているが、現状を問う。</p> <p>(2) 改正育児・介護休業法の一部施行を受けた本市の今後の取組について  (要旨) 本年10月より改正育児・介護休業法が一部施行され、出生時育児休業（産後パパ育休）制度が創設されたが、これを受けての本市の認識と今後の取組を問う。</p> <p>(3) 市内民間企業への育休取得促進の働きかけについて  (要旨) 子育て世代の転入が増加している本市として、市内民間企業の男性の育休取得促進の機運が高まるよう努めるべきと考えるが、本市の今後の取組を問う。</p> <p><b>3 AED（自動体外式除細動器）について</b></p> <p>(1) AEDへの被覆材等の設置について  (要旨) 傷病者が女性でもAEDの使用をためらわないよう、市内に設置されているAEDに被覆材や女性に配慮した取扱説明書を併せて設置できないか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 夜間・休日にも対応できる施設へのAED設置について  (要旨) 施設内に設置されているAEDは施設が開いている時間しか使用できない。夜間や休日にも対応できるよう、コンビニエンスストア等、24時間開いている施設への設置協力を依頼できないか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	10	議員名	井藤圭順（自民党 真誠会）
発言事項	<p><b>1 救急れんらくばんについて</b></p> <p>(1) 救急れんらくばんの運用状況について  (要旨) ケアマネジャーの「見守りれんらくばん」と民生委員・児童委員の「れんらくばん」を統一した「救急れんらくばん」の運用状況について、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 救急れんらくばんの今後について  (要旨) ひとり暮らし高齢者台帳登録者や介護サービス利用者及び同居家族を中心に配付されているが、今後の活用について、市の見解を聞く。</p> <p><b>2 明石市のハラスメント事案への対応について</b></p> <p>(1) 職員の職場環境づくりについて  (要旨) 職員が職場でトラブルや問題が解決できない場合や、上司に相談できない場合に対応するため職員相談窓口を開設しているが、現在の運用状況について、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 特別職の職員によるハラスメント事案について  (要旨) 令和元年に設置された特別職の職員によるハラスメント事案等に関する事項について、調査、審議する明石市ハラスメント防止委員会について、市の見解を聞く。</p> <p><b>3 明石公園について</b></p> <p>(1) 明石公園に関するPT（プロジェクトチーム）について  (要旨) 本市の明石公園に関するPTの現況について、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 県立明石公園と本市の連携について  (要旨) 県立都市公園のあり方検討会（明石公園部会）と本市の連携について、市の見解を聞く。</p>		



発言順位	11	議員名	佐々木 敏 (公明党)
発言事項	<p><b>1 令和5年度予算について</b></p> <p>(1) 令和5年度予算は、本格予算ではなく、骨格予算にすべきではないか。</p> <p>(要旨) 令和5年4月の市長選挙に市長は立候補しないと表明されたが、次の市長が自由に政策を実行できるように、本格予算ではなく、骨格予算にすべきであると思うがどうか。</p> <p><b>2 LGBTQ+にかかる小・中学生への教育と配慮について</b></p> <p>(1) LGBTQ+について、小・中学生に正確な知識の教育をしないか。</p> <p>(要旨) 人口の8%の人がLGBTQ+であると言われている。正しい知識をしっかりと教育しなければいけないのではないか。</p> <p>(2) 正確な知識の教育をした上で、トイレ、着替え、健康診断について、手厚い配慮をしないか。</p> <p>(要旨) LGBTQ+の人は、懸命に学校生活を送っている。特に、トイレ、着替え、健康診断について、手厚い配慮をするべきではないか。</p> <p><b>3 公共施設の近隣住民への配慮について</b></p> <p>(1) 県立明石公園の近隣住民への配慮について</p> <p>(要旨) 明石市立市民病院のすぐ南側、鷹匠町2丁目の区域が明石公園と接しているが、明石公園の大木が境界を乗り越えて秋から冬になると大量の落葉が発生し、近隣の方々は大変な思いで掃除をされている。また、木の枝が電線にかかっている。度々、明石公園管理事務所をお願いしているが、抜本的な解決には至っていない。市としても積極的に県に対して申入れを行うべきである。</p> <p>(2) 市の公共施設の近隣住民への配慮について</p> <p>(要旨) 市民からの要望を市に伝えた所だけでも、松が丘緑地、中崎遊園地、勤労福祉会館、文化博物館、市営西朝霧丘住宅、大蔵中学校、人丸小学校、大蔵谷サクラ公園、東野町公園、消防の消火栓表示のポール等々がある。対処が完了したものもあるが、未了のものもある。一度聞いたものは完了するまでしっかり対応しなければいけないのではないか。人員と予算もしっかり確保するべきである。</p>		

発言順位	12	議員名	寺井吉広(自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 移住・定住の促進について</b></p> <p>(1) 今後の移住・定住施策について  (要旨) 本市は10年連続人口が増加している。本市が「やさしいまち明石」であり続け、移住者・定住者を増やし、人口減少を食い止めるためには、今後も新たな施策を講じる必要があると考えるがどうか。</p> <p>(2) 空き家対策について  (要旨) 本市の空き家の現状はどうか。また、空き家の増加に歯止めをかけていくためには、空き家の利活用を促すことが必要であると考えるがどうか。</p> <p>(3) 市営住宅の有効な活用について  (要旨) 移住・定住希望者が居住する住宅を取得するまでの期間等、定住の検討に要する期間の住居を提供し、移住・定住の足掛かりとするため、市営住宅ストックの有効活用をすればよいと考えるがどうか。</p> <p><b>2 自転車利用環境について</b></p> <p>(1) 自転車通行空間などの環境整備（ハード面）について  (要旨) 自転車通行空間の整備は市内全域で実施されることが望ましいと考える。自転車通行空間の現在の整備状況と今後の整備予定について問う。</p> <p>(2) 自転車利用環境の整備（ソフト面）について  (要旨) 市内の自転車に関連する交通事故の発生状況はどうか。また、交通安全対策の現状や他の機関との連携状況、今後の取組について問う。</p> <p>(3) 自転車を活かした健康増進や観光振興について  (要旨) 自転車の活用は、市民の健康増進、観光との相乗効果や市内経済の活性化などにもつながる可能性があると考えますが、本市の見解を問う。</p>		

発言順位	13	議員名	梅田 宏希 (公明党)
発言事項	<p><b>1 泉房穂市長の発言の真意について</b></p> <p>(1) マスコミ報道等に対する真意について  (要旨) 市長は、新聞取材、テレビ出演、集会等で、市長引退発言や明石市議会との関係、元職員の発言に対して多くの所感を述べています。その真意についてお答えください。</p>		

発言順位	14	議員名	石井 宏法 (自民党 真誠会)
発 言 事 項	<p><b>1 泉市長の発言について</b></p> <p>(1) 市長が「長年積もった反対派の嫌がらせに、さすがに耐えかねた」と発言したことについて  (要旨) 雑誌の取材に対して上記のとおり答えているが、反対派とは誰なのか。また、嫌がらせとは何を指しているのか。耐えかねたとはどういうことか。</p> <p>(2) 市長が「自民と公明とはずうっと敵状態」と発言していることについて  (要旨) 雑誌の取材に対して上記のとおり答えているが、自民と公明とは誰なのか。また、敵状態とは何を指しているのか。</p> <p>(3) 市長は「ひどいもん、議員。私利私欲、党利党略、議員の面子。もう、ええ加減にせいよと思ってしまって、その場にいた議員に次々、暴言を吐いてしまって、やっちゃいました。すみません」と発言していることについて  (要旨) 市長は、テレビ番組で上記のとおり発言しているが、議員の何が「ひどいもん」なのか。私利私欲とは何か。党利党略とは何を指しているのか。議員の面子とは何か。「ええ加減にせい」とはどういう意味か。</p>		

発言順位	15	議員名	灰野 修平 (自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 泉市長に対する問責決議の原因となった事案にかかる認識について</b></p> <p>(1) 令和3年8月臨時会における議案第70号 令和3年度明石市一般会計補正予算(第5号)の市長専決処分について  (要旨) 市議会が実施時期や事務費等の観点から継続審査という結論に至ったにもかかわらず、議決直後に市長専決処分を行ったことの正当性について問う。</p> <p>(2) 令和3年12月議会における議員提出議案第4号 明石市工場立地法地域準則条例制定のことに係る議決への対応について  (要旨) 特別再議及び兵庫県に対する審査申立てを行った正当性について問う。</p> <p>(3) 令和4年2月に市長が自身のツイッターに市内企業の法人市民税額を投稿したことについて  (要旨) 地方税法第22条に抵触する疑いがあるものとするが、この行動の市長の問題意識について問う。</p>		

発言順位	16	議員名	千住 啓介 (自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 特別支援教育について</b></p> <p>(1) 特別支援教育の現状について  (要旨) 県立学校において定員が増えていると聞く。また、各小中学校における特別支援学級も増加傾向にあると聞く。市の見解を問う。</p> <p>(2) 明石市立特別支援学校の設立について  (要旨) 明石市立の特別支援学校をつくるべきと考えるが、市の見解を問う。</p> <p><b>2 市長の暴言について</b></p> <p>(1) 言われた方への配慮について  (要旨) 「問責決議に賛成したら許さんからな」「覚えとけよ」という脅迫とも思われる暴言を行った。言われた本人は恐怖にさいなまれている。相手方へどのように配慮してきたのか。また、今後はどのように対処するのか。見解を問う。</p> <p>(2) 式典の主催者への配慮について  (要旨) 3年以上かけてつくり上げてきた主催者の気持ちを考えると残念でならない。「なぜ、お祝いの席で」という強い憤りを感じる。主催者へどのような配慮を行ってきたのか、見解を問う。</p> <p>(3) 議員の権限について  (要旨) 議員に「問責決議に賛成したら許さんからな」「次の選挙で落とす」という発言を行ったことは、議会として市長に対し「反省をするべき」という我々議員の意思を暴力をもって妨害する行為であり、絶対に許されるものではない。議員の権限への認識について、見解を問う。</p> <p>(4) 「怒りに任せて」「言った言葉に意味を持たない」について  (要旨) 市長は、自身の発言について、怒りに任せて言った言葉であり、意味を持たないとしたが、「問責決議に賛成したら許さんからな」「覚えとけよ」は脅迫行為と考えられる。市の法的見解を問う。</p>		

発言順位	17	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p><b>1 新年度予算編成方針について</b></p> <p>(1) 市長の認識について  (要旨) これまで取組が進められてきた「こどもを核としたまちづくり」「すべての人にやさしいまちづくり」など、SDGsの理念による市政を継続・発展させるための具体的な予算とするべきである。</p> <p><b>2 議案第107号 地方独立行政法人明石市立市民病院第4期中期目標制定のことについて</b></p> <p>(1) 「必要な検討」について  (要旨) 計画では、「将来目指すべき医療体制の構築に向けて、必要な検討を行う」としているが、これについて市の見解を問う。</p> <p>(2) 市民病院の建て替えについて  (要旨) 市の認識を問う。</p> <p><b>3 交通安全対策について</b></p> <p>(1) 高齢者の交通安全対策について  (要旨) 高齢ドライバーによる交通事故の発生が全国的に問題となっている。本市の取組について問う。</p> <p>(2) 自転車の安全対策について  (要旨) 道路交通法改正により自転車運転者等のヘルメット着用が努力義務となる。本市の普及・啓発に係る取組について問う。</p> <p>(3) 歩行者優先の取組について  (要旨) 市の積極的な取組により、市民意識の向上が図られている。今後の取組について問う。</p> <p>(4) スケアードストレートについて  (要旨) 体験型の交通安全教室が大変好評である。さらに拡充すべきと考える。市の認識を問う。</p>		

発言順位	17	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p><b>4 市政の諸課題について</b></p> <p>(1) 市長に対する脅迫行為について (要旨) この間の状況と市の対応について問う。</p> <p>(2) 県立特別支援学校を明石市内に新設することについて (要旨) 兵庫県教育委員会から協力依頼があったと聞き及んでいる。その後の状況について問う。</p> <p>(3) 報告第24号 令和3年度明石市一般会計歳入歳出決算不認定に係る措置の報告のことについて (要旨) 地方自治法第233条第7項に係る認識について問う。</p> <p>(4) 大久保北部エリアの市有地の利活用について (要旨) 貴重な自然を残し、自然を活かした利活用方法を検討すべきと考える。市の認識を問う。</p>		



発言順位	18	議員名	森 勝子 (維新の会)
発言事項	<p><b>1 西明石駅を中心としたまちづくりと朝夕の駅的环境整備について</b></p> <p>(1) 西明石駅再開発のその後の進捗状況について  (要旨) 先日、地元地権者への説明会等が行われたとお聞きしましたが、地域住民から第2回市民説明会を開催してほしいとのお声があります。西明石のまちづくりの全体像をお示しいただきましたら、市民も安心すると思います。JR西日本との協議について、現状と今後の取組状況をお聞かせください。</p> <p>(2) 西明石駅周辺のにぎわいづくりについて  (要旨) 西明石の発展なくして、本市のさらなる発展はないと思います。本市の玄関口である新幹線停車駅の西明石駅は、明石駅や大久保駅のような集客スペースがありません。現在の新幹線口のロータリー用地等を民間活力を導入して利活用を検討すべきと考えますが、本市の見解をお聞かせください。</p> <p>(3) 六甲バター工場跡地の新たな改札口と新幹線口を結ぶ自由通路について  (要旨) 西明石駅周辺再開発における課題の一つとして、まちが線路によって分断されているという現状があります。地域住民の利便性向上のため、自由通路の設置は理にかなっていると思います。50年先の未来を見据えた駅前再開発を切に願います。JR西日本との交渉及び本市の見解をお聞かせください。</p> <p>(4) 西明石駅への大久保地区エリアのバス利用者の誘導について  (要旨) 市バスが民間に路線移譲されてから10年以上がたっています。大久保地区エリアのバス、電車利用者の多くは新快速に乗り換えるために、大久保駅から一旦、西明石駅に行きますが、駅のラッシュ時は、人が溢れんばかりの混雑です。人口増が続く本市の市民の安全性と利便性を考慮して、大久保エリアのバス路線の一部を西明石駅行きに誘導する等の検討はできないでしょうか。本市の見解をお聞かせください。</p> <p><b>2 明石市立市民病院の建て替えについて</b></p> <p>(1) 県立がんセンターと明石市立市民病院の県・市連携について  (要旨) 明石市立市民病院は、老朽化が進み、建て替えの時期が到来しております。同じ明石市内にある近隣の県立がんセンターは、既に建て替え計画が進行中です。市内に2つの公立病院がありますが、医師・看護師不足の問題や、今後の病院経営は生き残りが厳しいという課題があります。県・市連携を強化し、病病連携する等の経営計画を目指すべきかと考えますが、本市の見解をお聞かせください。</p>		

発言順位	18	議員名	森 勝子 (維新の会)
発言事項	<p><b>3 人権問題について</b></p> <p>(1) 北朝鮮による日本人拉致問題について  (要旨) 明石市にご縁のある有本恵子さんは、拉致被害者に認定されているお一人です。また、拉致被害者と認定されていない、つまり拉致の可能性を排除できない行方不明者は全国で約900名に上ると言われています。このような痛ましい人権問題について、SDGs 未来安心都市・明石を掲げている本市の見解をお聞かせください。</p> <p>(2) 拉致問題啓発について  (要旨) 毎年12月10日から16日までは、一日でも早い拉致被害者全員の救出に向けた北朝鮮人権侵害問題啓発週間となっております。本市においては、拉致問題啓発映画「めぐみ 引き裂かれた家族の30年」の上映会が行われるとのことですが、市民の多くの方々に知っていただきたいと思います。本市の取組状況をお聞かせください。</p>		

発言順位	19	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発言事項	<p><b>1 誰一人取り残さないまちづくりについて</b></p> <p>(1) 明石市防災訓練について  (要旨) 令和4年11月20日、明石市防災訓練が実施された。障害当事者も参加し、多様な視点に立った避難所運営を体験するという、本市として初の試みであった。災害発生時には、隣近所同士の「共助」が非常に重要だと考える。市の考えや今後の取組についてお尋ねしたい。</p> <p><b>2 離婚後の養育費立替支援事業について</b></p> <p>(1) こどもの養育費立替支援事業について  (要旨) 令和4年8月から、本市は、離婚後の養育費立替支援事業を開始した。悩める保護者への支援やこどもの健やかな成長を支援するための取組であり、全国からも注目されている施策である。ひとり親家庭への支援は、特に継続的な支援として確立する必要があると考える。これまでの実績や課題、今後の取組についてお尋ねしたい。</p>		

発言順位	20	議員名	宮坂 祐太 (フォーラム明石)
発言事項	<p><b>1 立地適正化計画を踏まえた20年後を見据えたまちづくりについて</b></p> <p>(1) 立地適正化計画における明石公園の位置づけについて  (要旨) 明石公園については、市として早い段階で住宅開発の動きを把握し、開発規模の縮小等の必要な勧告等を行えるようにするため、宝塚市のように居住誘導区域から除外することが適切ではないかと考えます。一方、今後の旧市立図書館跡地等への誘導施設の整備を見据え、都市機能誘導区域としての設定は必要と考えます。都市機能誘導区域は居住誘導区域内に設定することが基本ですが、国土交通省のQ&amp;Aによると、都市機能誘導区域を居住誘導区域の外側に設定することも可能と読み取ることができ、明石公園は国土交通省の例示に該当するのではないかと考えます。立地適正化計画における明石公園の位置づけについて、市の認識をお伺いいたします。</p> <p>(2) 図書館の立地適正化について  (要旨) 立地適正化計画素案における西明石、大久保、二見の各都市機能誘導区域への誘導施設のうち、社会教育施設は図書館を想定しているものと思われま。過去にも本会議答弁で言及があった、これら3地域への図書館の誘導が実現すれば、図書館設置数が令和3年度における中核市平均5.24と同水準になるほか、図書館を核とした様々な機能を併せ持つ複合的な施設の整備であれば、「公共施設の集約や複合化により、効率的な運営を図る」という誘導方針とも合致します。都市構造再編集中支援事業の実施の可能性の有無を含めた今後の取組についてお伺いいたします。</p> <p>(3) 立地適正化計画の周知について  (要旨) 立地適正化計画は、20年後の都市のあるべき姿を見据え、今後、本市が市民、事業者とともにまちづくりを進めていく上で極めて重要な行政計画です。しかし、さきを実施された素案に係るパブリックコメント・市民説明会では、必ずしも市民、事業者に広く関心を持っていただけているとは言えない状況がありました。パンフレット及び届出制度に係る手引きの作成はもとより、例えば、静岡市のようなPRムービーの作成など、立地適正化計画を市民、事業者へ広く周知するための策定前・策定後それぞれの取組についてお伺いいたします。</p>		

発言順位	21	議員名	大西 洋 紀 (未 来 明 石)
発 言 事 項	<p><b>1 「パピオスあかし」について</b></p> <p>(1) 明石駅前南地区市街地再開発事業の中核である「パピオスあかし」について、市長はどのように認識、評価しているのか。  (要旨) 「パピオスあかし」がオープンしてからちょうど6年がたとうとしているが、現在の「パピオスあかし」に対する認識や評価はいかがなものか、お聞きしたい。</p> <p>(2) 「パピオスあかし」の整備計画見直し、取りやめを公約に当選された後、どのように明石駅前南地区市街地再開発事業に関与してきたのか。  (要旨) そもそも事業そのものに否定的な立場で市長に就任した中で、どのような思いをもって関与し、事業の完成にこぎつけたのか、お聞きしたい。</p> <p><b>2 教育行政について</b></p> <p>(1) 小・中学校の教職員不足解消について  (要旨) 小・中学校で、新年度スタートの段階での教職員不足が判明したが、綱渡り状態も限界に来ているのではないかと。兵庫県教育委員会との関係が良好なのか、お聞きしたい。</p> <p>(2) 小・中学生の児童生徒数に見合った教室数や運動場の必要最低面積確保について  (要旨) 通常教室での授業をはじめ、体育の授業もゆとりのある十分な広さの運動場で授業を受けられる教育環境を早急に整備するべきであると考えているが、具体的な構想はあるのか、お聞きしたい。</p>		

発言順位	22	議員名	丸谷 聡子 (かけはしSDGs)
発言事項	<p><b>1 在宅医療への支援体制について</b></p> <p>(1) 地域の在宅医療資源の把握と関係機関への情報提供について  (要旨) 令和元年版高齢社会白書によると、治る見込みがない病気にかかった場合、60歳以上の約半数が自宅で最期を迎えたいと希望している。生産年齢人口も減少しており、国は療養の場を医療から在宅へとかじを切り、在宅医療の推進が強く求められている現状がある。そこで、本市も地域の在宅医療資源を的確に把握し、リソースマップの作成、関係機関への情報提供などの支援体制が必要ではないか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 市民への普及啓発について  (要旨) 市民への普及や啓発を目的としたハンドブックの作成やホームページ等での情報発信が必要ではないか、市の見解を問う。</p> <p>(3) 医療的ケア児の在宅医療への支援体制について  (要旨) 実態把握、リソースマップの作成、入院が必要になった場合の市民病院での受入れなど、支援体制の構築が急務であるが、市の見解を問う。</p> <p><b>2 高校生世代への支援の拡充について</b></p> <p>(1) 明石市給付型奨学金事業「あかし高校進学応援プロジェクト」について  (要旨) 今年度の取組状況と課題について、市の見解を問う。</p> <p>(2) 児童手当支給枠の拡充について  (要旨) 現在、15歳まで支給している児童手当について、国に先駆けて18歳まで拡充してはどうか、市の見解を問う。</p> <p><b>3 市民活動センターの増設について</b></p> <p>(1) 市民活動センターの増設について  (要旨) 現在、ウイズあかしに設置されている市民活動センターは、稼働率も高く、フリースペースは毎日、多くの市民が利用している。しかし、大久保や二見エリアの市民からは行きにくく、もっと近くにあればとの声を多くお聞きしている。市民と協働するまちづくり推進のためにも、さらに2か所以上の市民活動センターの増設が必要と考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	22	議員名	丸谷 聡子 (かけはしSDGs)
発言事項	<p><b>4 30 by 30 (サーティ・バイ・サーティ) の観点から、大久保北部の里山の生物多様性を保護・保全することについて</b></p> <p>(1) 30 by 30の観点から、大久保北部の里山の生物多様性を保護・保全することについて</p> <p>(要旨) 30 by 30は、2030年までに生物多様性の損失を食い止め、回復させる(ネイチャーポジティブ)というゴールに向け、陸と海の30%以上を健全な生態系として保全するために、本年12月開催のCOP15(生物多様性条約第15回締約国会議)での採択を目指す世界目標である。本市も市内唯一の里山である大久保北部の里山の保護・保全をしなければならないと考えるが、市の見解を問う。</p> <p><b>5 公共施設の電気代等高騰対策としてのゼロエネルギー化・再生可能エネルギー導入について</b></p> <p>(1) 公共施設のゼロエネルギー化について</p> <p>(要旨) 電気代等高騰対策として、計画的に公共施設のゼロエネルギー化を進めるべきと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(2) 地域主導型の再生可能エネルギー事業における電力の地産地消について</p> <p>(要旨) 地域主導型の再生可能エネルギー事業で地域経済を循環させ、地域所得を増加させる取組が全国各地の自治体で始まっている。本市も積極的に取り組んではどうか、市の見解を問う。</p> <p>(3) 建物の断熱ワークショップの実施について</p> <p>(要旨) 建物の高断熱や高気密化は、経済面では光熱費削減、社会面ではヒートショック抑制、環境面ではCO2削減など、SDGsの三側面の効果が見えやすい。本市も長野県上田高校が実施している高校生による断熱ワークショップのような市民の行動変容につながる取組を実施してはどうか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	23	議員名	北川 貴 則 (維 新 の 会)
発 言 事 項	<p><b>1 コロナに負けない生活支援と福祉の充実について</b></p> <p>(1) その後の生活困窮者への支援の現状について  (要旨) 依然、新型コロナは経済損失を招き続けております。失業などで収入が減り、生活が苦しくなった方への対応は、この間、適切に行われていたのでしょうか。困っている市民の方を取り残さない取組をお聞かせください。</p> <p>(2) 生活支援にも即している全市民への3,000円サポート利用券配付事業について  (要旨) コロナ禍では、収入の減少、子育てへの不安、生活の困窮などに支援が求められます。本市の様々な対応は、市民生活の安心感にもつながります。  この度の全市民への3,000円のサポート利用券配付事業も好評を得ているとお聞きしております。進捗状況をお聞かせください。</p> <p>(3) 今後の支援策について  (要旨) コロナによる生活困窮を理由に命を絶つことがないように、施策のさらなる展開と、セーフティネットとしての福祉の充実を望みます。従来の生活相談・支援業務に加え、全市民に対するサポート利用券配付事業の次年度の展開や、本市独自のさらなる支援策の充実など、今後の展開をお聞かせください。</p> <p><b>2 天文科学館の年末年始の開館について</b></p> <p>(1) 年末年始の開館はどのように行われるのでしょうか。  (要旨) 時のまちのシンボルである天文科学館の存在は大きな意義があります。これまでの年末年始開館の成果はいかがでしょう。また、今後はどのように行われるのでしょうか。時のまちとしての本市の取組状況をお聞かせください。</p> <p><b>3 2023成人式について</b></p> <p>(1) 運営内容について  (要旨) 2023年の運営内容はどのようになっているのでしょうか。また、新成人から企画・運営上の新たな要望等はあるのでしょうか、お聞かせください。</p>		



発言順位	23	議員名	北川 貴 則 (維 新 の 会)
発 言 事 項	<p><b>4 好循環、人口増をもたらしている本市の今後の取組について</b></p> <p>(1) 今後の展開について</p> <p>(要旨) 泉市政の全国に先駆けた数々の施策は、本市に好循環をもたら し、全国からも注目を集めております。今や国策にも大きな影響 をもたらし、市民重視の観点から様々なニーズを的確に捉えるス ピーディな施策の展開は、政治不信を払拭するなど、国益にも貢 献しているのではないのでしょうか。泉市長が勇退された後が心配 です。今後の展開をお聞かせください。</p>		